

SILICALIME S-SERIES  
MAINTENANCE MANUAL



シリカライム 補修の手引き





# SILICALIME S-SERIES MAINTENANCE MANUAL

## INDEX



補修の手引き [目次]

- 04 お住まいになられる前に必ずお読みください
  - 05 メンテナンスに必要な道具
  
  - セルフメンテナンス—汚れの除去—
  - 06 表面に付着した汚れ (鉛筆・クレヨン・手垢など)
  - 07 染み込んだ汚れ (油跳ね・液体汚れなど)
  
  - セルフメンテナンス—水を使わない簡易補修—
  - 08 補修を行う前に
  - 09 ヘアクラック補修 (0.1mm程度のわずかなヒビ割れ)
  
  - セルフメンテナンス—水を使う補修—
  - 10 補修を行う前に
  - 11 引っ掻き傷・クラック補修
  - 12 穴埋め補修 (ビス・ピンなど)
  - 13 コーナーの傷補修 (出隅の欠け)
  
  - 14 カラー調色とパターン別の補修方法
-

# お住まいになられる前に必ずお読みください

この度は、シリカライムSシリーズをご採用いただき、誠にありがとうございます。本書では、お住まいになられてからのお手入れや汚れ・傷を付けてしまった際の対処法をご紹介します。

誤った対処をしてしまうと、取り返しの付かないことになってしまうことがあります。お住まいになられる前に、本書または弊社ホームページに記載されている対処法を確認し、安心してシリカライムの綺麗な空気環境でお過ごしください。

## 日々のお手入れ

シリカライムは劣化することなく、空気中の二酸化炭素を吸って硬化し続ける優れた耐久性を持っています。下地の動きによるクラックは避けられませんが、素材自体が劣化してポロポロと崩れることはないのでご安心ください。

## 安心サービス

シリカライムでは、本取扱説明書・HPでの補修方法のご案内以外に、安心してお住まいいただくために下記のサービスを設けております。

### ● 補修材S0の無料発送サービス

P9～13でご案内している補修時に必要な、樹脂不使用の補修材S0を無料でお送りしております。ご注文の際、弊社に直接工事をご発注されたお客様は、弊社へ直接お問い合わせください。ハウスメーカー・工務店をご利用の方は、各社担当者にご相談ください。

### ● 訪問補修・セルフメンテナンス講習サービス(弊社責任施工限定)

ご希望に応じて、お引き渡し後1回の訪問補修・セルフメンテナンス講習を実施しております。お引越しの際にぶつけてしまった傷などでも、可能な限り無償で補修します。

※ 弊社材料・施工の不具合による剥離や亀裂については、責任を持って対処しますが、

下地の動きによるクラックやお施主様自身で付けてしまった傷については、責任を負い兼ねますので、ご了承ください。

※ 左官における補修は、できる限り元の状態に近付けることを意味し、完全に元通りにはならないことをあらかじめご了承ください。また、部分補修で対応できない大きな傷・クラック・汚れなどの場合は、有償での全面再施工となることもございます。

※ 2回目以降も、ご希望があれば有償にはなりますが、部分補修にお伺いいたします。

※ 事前に傷の範囲や状態を確認するために、状態の画像をメールでお送りいただくことにご協力をお願いしております。



補修材SO【標準色】



色合わせ用材料



水



紙コップ&紙皿



マスキングテープ



マーカー



消しゴム



刷毛・筆



ペインティングナイフ



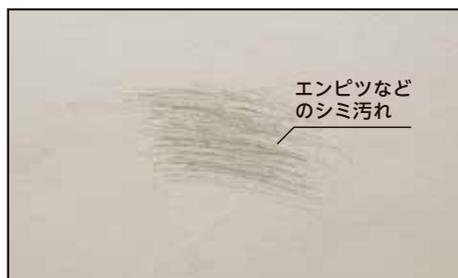
中性洗剤



雑巾・布



## 表面に付着した汚れ（鉛筆・クレヨン・手垢など）



消しゴムを優しく撫でるように動かし、汚れが取れていることを確認したらできる限り優しく消し取ってください。  
(強く擦り過ぎると骨材が磨かれて黒っぽくなってしまうことがあります。)



※染み込んでしまっている液体汚れや、消しゴムの当たらない隙間に汚れが入り込んでしまっている場合は、別の補修方法となります。





## 染み込んだ汚れ (油跳ね・液体汚れなど)



水で濡らし、よく絞ったタオルや布を使って優しく叩きます。(衣服に液体汚れが付着したときと同じ要領)



それでも落ちない場合は、食器洗い用の洗剤を付けて①と同じように汚れを浮かして取ります。

3  
時間を空けて数回繰り返ししても変化がない場合で、汚れの範囲が直径5mm以下の小さな汚れの場合は、表面の汚れを優しく削り取って指先で優しく撫で、周囲と馴染ませてください。それでも周囲と馴染まない、もしくは削った箇所が凹んで溝になってしまっている場合は、P11の補修を行ってください。



水



中性洗剤



布・雑巾





## 補修を行う前に

### 補修材S0について



補修材S0は、シリカライムSシリーズを補修に適した配合に変えた滑らかな材料で、クラックや穴埋めなどの細かな傷の補修に適しています。

強アルカリ性となりますので、

お子様が触れないよう十分に注意して使用してください。

誤って目に入ってしまった場合は、すぐに水で洗い流し、

速やかに医師の診断を受けてください。

木部に付着すると変色する場合があります。

周囲をマスキングテープやマスカーを使ってしっかりと養生してください。



補修材S0



色合わせ用材料





## ヘアクラック補修 (0.1mm程度のわずかなヒビ割れ)



0.1mm以下のヘアクラックについては、S0（補修専用材）を使用し、水を使わない簡易補修を行います。



1 補修箇所の周囲を養生してください。（細かい材料が舞う可能性があるため、広範囲で養生することをオススメします。無垢フローリングなどの場合は、溝や表面の小さな凹凸に細かい成分が入ると落とせなくなることもあります。）



2 筆や細い刷毛にS0を付けて、クラックが見えなくなるまで、刷り込むように擦り付けます。もしくは、指先にS0を付けて優しく擦り入れてください。



3 クラック部分に触れないように、周囲に付着したS0を刷毛や筆で払い落とします。（斜め方向など、角度を変えて光の反射による見え方を確認してください。落とし方が甘い、部分的に色が違って見えてしまうケースがあります）

S0を使用した補修をする前に、クラック周囲を少し強く指で擦ってみてください。クラック 補修後0.1mm以下のクラックは、それだけでも消えてしまうことがあります。また、ナチュラル・プラン以外のカラーは、S0よりも濃く仕上がることがあります。S0と比較して明らかに色が合わない時には、水を使う補修を行うことをオススメします。



補修材S0



色合わせ用材料



マスキングテープ



マスカー



刷毛・筆



紙コップ・紙皿





## 補修を行う前に

### 補修材S0の準備



補修材S0の注意点についてはP08をご確認ください。

1



補修材S0を紙皿や紙コップに必要量注ぎ、水と練り合わせます。

2



この際、刷毛先やスポイトなどを使って少量ずつ水を加えて混ぜてください。一定量を超えると急に柔らかくなります。

3



持ち上げてもすぐに垂れてこない、ハンドクリーム程度の硬さが最適です。



補修材S0



色合わせ用材料



水

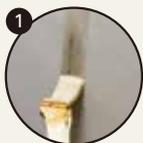
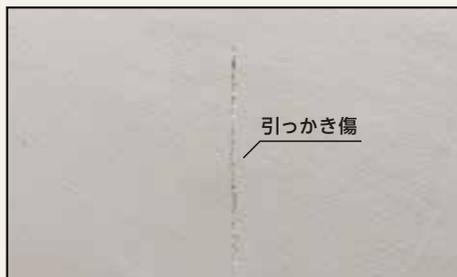


紙コップ・紙皿 ペンティングナイフ

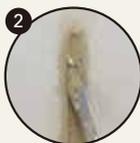




## 引っかけ傷・クラック補修



1 補修箇所の周囲1~2cmを水でよく湿らせます。



2 ペインティングナイフやコテを使って、傷に練ったS0を埋め込みます。



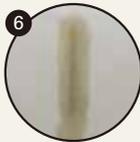
3 はみ出している余分な材料を優しく削ぎ落とします。



4 水を含んだ刷毛や筆で、傷の周囲に付着した余分なS0を拭き取ります。



5 周囲と馴染ませるように指先で軽く撫でます。  
(すぐに手洗いをしてください。肌の弱い方は、薄手のゴム手袋などを使用してください。)



6 自然乾燥(30~1時間程度)で補修完了です。色合いや質感が少し気になる場合は、乾いた状態で優しく表面を擦って周囲と馴染ませると、より綺麗になります。



補修材S0



色合わせ用材料



水



マスキングテープ



マスカー



ペインティングナイフ



刷毛・筆



紙コップ・紙皿



## 穴埋め補修 (ビス・ピンなど)



1



刷毛を使って穴を中心に1~2cmの範囲を水でよく湿らせます。  
(穴の中にもしっかりと水を浸透させてください。)

2



ペインティングナイフやコテを使って、  
穴の中に練ったS0を埋め込みます。

3



周囲と馴染ませるように指先で軽く撫でるようにします。  
(すぐに手洗いをしてください。肌の弱い方は、薄手のゴム手袋などを使用してください。)

4



自然乾燥 (30分~1時間程度) で補修完了です。色合いや質感  
が少し気になる場合は、乾いた状態で優しく表面を擦って周囲と馴染  
ませると、より綺麗になります。

MAINTENANCE  
TOOL

補修材S0



刷毛・筆

色合わせ用材料



紙コップ・紙皿

水



マスキングテープ



マスカー

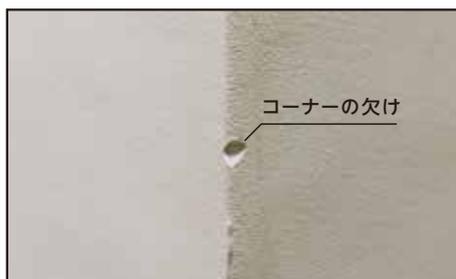


ペインティングナイフ





## コーナーの傷補修 (出隅の欠け)



1 補修箇所の周囲1~2cmを水でよく湿らせます。



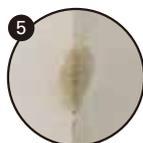
2 ペインティングナイフやコテを使って、欠けた箇所に練ったS0を埋め込みます。(片側ずつ材料を埋め込むと角を作りやすくなります。)



3 はみ出している余分な材料を優しく削ぎ落とします。



4 周囲と馴染ませるように指先で軽く撫でるようにします。(すぐに手洗いをしてください。肌の弱い方は、薄手のゴム手袋などを使用してください。)



5 自然乾燥(30分~1時間程度)で補修完了です。色合いや質感が少し気になる場合は、乾いた状態で優しく表面を擦って周囲と馴染ませると、より綺麗になります。



MAINTENANCE TOOL

補修材S0



色合わせ用材料



水



マスキングテープ



マスカー



ペインティングナイフ



刷毛・筆



紙コップ・紙皿



## カラー調色

ナチュラル・ブラン以外のカラーの場合、乾燥の具合によって色のバラツキが大きいため、色の調整が必要となります。



ミモザ



マンダリン



ローズ・アンシヤン



ローズ・ドラジェ



グレージュ



グリー・サンドル



アルドワーズ



グリー・フェール



ヴェール・ビスタッシュ



ブルー・アジュール

## 調色手順



標準配合でお送りした補修材S0の少量を水で練ります。  
→ (P10参照)



補修する壁面を水で十分に湿らせ、  
練った補修材S0と壁の濡れ色を比較してください。



同封の色合わせ用材料を少しずつ加え、色が合うまで調整します。

補修材S0



消しゴム

色合わせ用材料



中性洗剤

マスキングテープ



水

マスカー



布・雑巾

ペインティングナイフ



紙コップ・紙皿

刷毛・筆





## 補修方法が特殊なパターン

### S1/タロッシュ・ヴァーグ・ブロッセ



タロッシュ



ヴァーグ



ブロッセ

タロッシュ/ヴァーグ/ブロッセに関しては、骨材が転がって少し荒い表情になっているため、S0を使用した補修よりも骨材の入っているS1を使用した補修がオススメです。基本的な補修方法はS0の補修と同じで、最後に周囲と綺麗に馴染ませるために刷毛などで骨材を転がすように撫でてください。

### S3全般



カレ



クルゼ



バッチ



リーニュ



スフレ

S3については、傷や穴の大きさによって使用する補修材を変える必要があります。

- ① 0.1mm程度のヘアクラック→S0で水を使わずに補修P09参照
- ② 0.1～0.5mm程度のクラック→S0を水で練って補修P11参照
- ③ 0.5～1mm程度のクラック、直径2mm以下の穴→S1を練ってP11、P12と同様に補修
- ④ 1mm以上のクラック・傷、直径2mm以上の穴→S3を練ってP11、P12と同様に補修

---

[www.silicalime.co.jp](http://www.silicalime.co.jp)



---

補修の手引きの動画はこちら →



---

#### 株式会社シリカライム

東京オフィス | 〒102-0084 東京都千代田区二番町5-1 住友不動産麹町ビル8F TEL.03-6367-9835 FAX.03-3264-7231  
ショールーム | 〒102-0085 東京都千代田区六番町11-3 エクサス六番町

FREE  
CALL | **0800-777-2014** AM9:00-PM6:00 (土日祝を除く)

本カタログ、または製品に関するお問い合わせは上記フリーコールまでお問い合わせください。